

# 途上国政府への普及事業：環境・エネルギー・廃棄物処理分野 フィリピン ミルクフィッシュ養殖事業における太陽光発電利用の普及

## 企業・サイト概要

- 提案企業：株式会社パワーバンクシステム・株式会社野村総合研究所共同企業体
- 提案企業所在地：熊本県
- サイト・C/P機関：ラグナ湖（リザール州ビナゴナン郡グロッド村水域）、農業省漁業・養殖資源局

## フィリピンの開発課題

- 養殖事業を持続可能で安全な食料産業として発展させる必要性がある。
- 抗菌剤の残留や赤潮等の問題があり、エアレーションを行うことにより改善が見込まれるが、電気のコストが高い。

## 中小企業の技術・製品

- 重塩害対応素材のため洋上でも錆びる心配がない、独自開発の太陽光パネル。
- 薄くて軽量であるため、設置場所を選ばないため養殖事業等に効果を発揮。
- 柔軟性があり様々な形状に加工が可能。  
(e.g.トタン屋根の形状に合わせて、波打った形状に加工することも可能)

## 提案されたODA事業及び期待される効果

- 民間提案型普及・実証事業、第三国研修、貧困農民支援無償資金協力(2KR)
- 貧困コミュニティへのシステム供与により所得が向上する。
- 専門家派遣によりフィリピンにおける養殖技術が向上する。
- 第三国研修により他の途上国の養殖技術が向上する。

## 日本の中小企業のビジネス展開

- 現地企業と販売代理店契約を結び、システムを販売しながら、現地生産の可能性を探る。

